

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 30 日

団体所在地 広島市西区井口明神 1-15-11
団体の名称 サンタクローススクールジャパン株式会社
職・氏名 代表取締役 山口 哲史
(施設名 リトルニュートン井口明神認定こども園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・園外保育
(自然散策、自然物観察、採集 等)
- ・野菜の栽培
- ・サツマイモの苗植え、イチゴ収穫
- ・玉ねぎの皮を使った草木染

【7月～9月】(夏季)

- ・園外保育
(お泊まり保育 等)
- ・水あそび
- ・夏野菜収穫、クッキング

【10月～12月】(秋季)

- ・園外保育
(自然散策、自然物採集 等)
- ・サツマイモの収穫
- ・クッキング
(どんぐりチップス、干し柿、餅つき 等)
- ・自然物を使った創作
(クリスマスツリー 等)

【1月～3月】(冬季)

- ・園外保育
(自然散策、自然物採集、雪遊び 等)
- ・自然物を使つての創作
(ミカンの皮を入れて足湯 等)

活動報告（詳細）

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。
写真は基本1枚です。

【4月～6月】

（写真）



ぽかぽかした暖かい日には戸外へ。今日はどこに行こうか、子どもたちとサークルタイムで話し合い。「石を見つけない」「桜見に行きたい」「たんぽぽ探したい」など子どもたちの興味は様々。みんなが納得できるように相談します。

石を見つけ、水に塗らすと色が変わった！不思議に思いもう1つ。今度は違う色に！面白くなって何度も繰り返します。「石にも名前があるんよ」「図鑑で見たことある」友だちの声でさらに興味が深まります。園に帰って図鑑で調べます。同じ石を見つけると大興奮。石を宝物のように集めて、きれいに並べます。同じ種類の石を集めたり、重さをはかったり、数を数えたり、遊びが深まります。さらに数日に分けて、いろんな公園の石を集めると公園によって石が違うことを発見！日々繰り返しの中で子どもたちは発見します。

【7月～9月】

（写真）



お泊まり保育の計画中、「そうめんながししたい！」との声から、そうめん流しの準備開始！

本物の竹を目の当たりにし、「おおきい」「ツルツルしとる」と、活動への意欲が高まっていました。保育者と一緒に竹を切る際には「なかなかきれんね」「もうちょっとかね？」「がんばって」など、友だちと協力しながら作り進めることを楽しむ姿がありました。みんなで協力して切れた後には「きれた！」「なか（中身）きれい！ツルツル！」「なんかいいにおいする」等、気づきや発見を友だちと共有する姿があり、竹の節・竹の粉にも、関心をもってふれてあそぶ姿がありました。最後の仕上げ（ヤスリがけ）まで自分たちで行い、完成した後は達成感や充実感を味わう姿が見られました。お泊まり保育当日は、そうめん流しを存分に楽しむ子どもたちでした。

【10月～12月】

(写真)



青少年子どもの村にてサツマイモの収穫体験！

夏に食育をしたことから、「きゅうりは土にできんやっただけど、芋は土にできるんよね」「葉っぱはどんな形かな」「おいもって根っこなんだよ」と野菜のでき方に興味津々の様子。

いざ収穫！ 芋のツルを一生懸命引っ張ります。「なかなか出てこないな」「かして！一緒にやってあげる」「こっちから引っ張るねと」友達同士協力して取り組みます。「どっちが重いかな？」「こっちじゃない？」「でも長いのはこっちよ」「測ってみたいいいんじゃない？」の子どもたちの言葉から大きさ比べをします。

秤、メジャーを用意して比べます。秤で重さ（グラム）メジャーを使って長さ（センチ）を紙に書きます。経験の中で用具の使い方を学び、単位を知ります。

遊びの中で子どもたちは様々なことを学んでいます。

【1月～3月】

(写真)



公園や緑地帯には枯れ木や枯れ葉がいっぱい。集めてキャンプごっこが始まります。「木持ってきて！」「私キャンプファイヤーつくる！」と枝を合わせてキャンプファイヤー作り。「空気の道を作るんだよ」「フーフーって息を入れる」キャンプをしたことある友達が教えてくれます。「どんぐりの皮剥いたら白い！ごはんにしよう」「泥のなかに赤い葉っぱ入れよう！にんじん」と自然物を食材に見立てて料理が始まります。さら粉やナンテンの実、どんぐり、石…、子どもたちにとって自然物は全部おもちゃ！

日々集めてきたもので、見立て遊びが始まります。

皿やコップを持って来て盛り付けたら完成！

子どもたちの想像力ははかりしれません。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

責任者の経験をもとに、自然体験の知識を職員に伝えるとともに、「自然保育実践者のための危険生物対策」や「ひろしま自然保育資質向上」の研修に職員が参加し、自然にひそむ危険生物に関する知識を深めた。また、研修で得た知識を共有してもらい、職員の資質向上に努めてた。また、子どもたちの戸外活動の様子や収集した自然物を利用した活動について外部アドバイザーから助言をもらって実践し、職員の自然保育力向上に努めている。

- ・ 地域との関わりについて

近隣の公園やバス遠足などを行い、地域の方との挨拶などで交流を深めた。

- ・ 保護者との関わりについて

子どもたちの遊びや活動について、活動報告やドキュメンテーション、インスタグラム等で発信し共有。

* より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--